

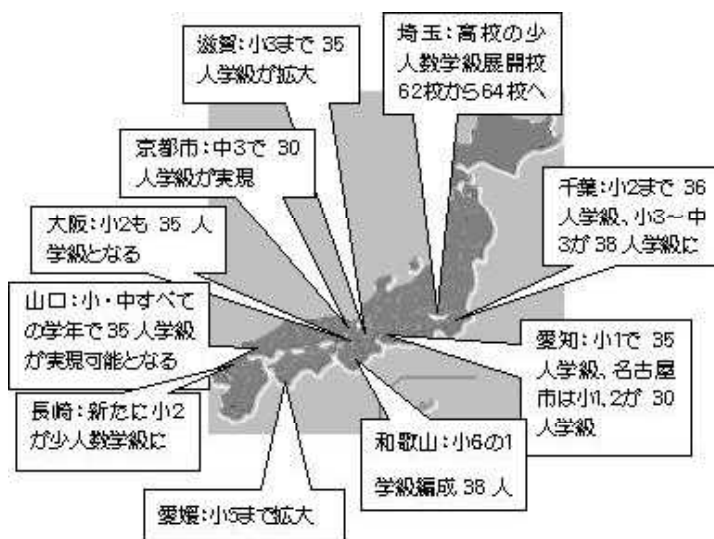
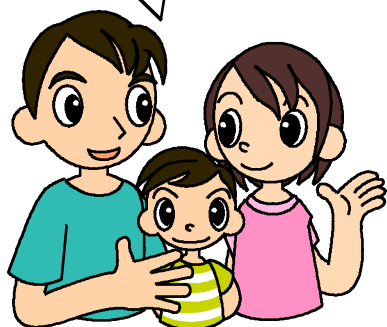
# 署名の力で一歩前進

みなさんの「署名の一筆」が、大きな力となって教育政策に反映しています

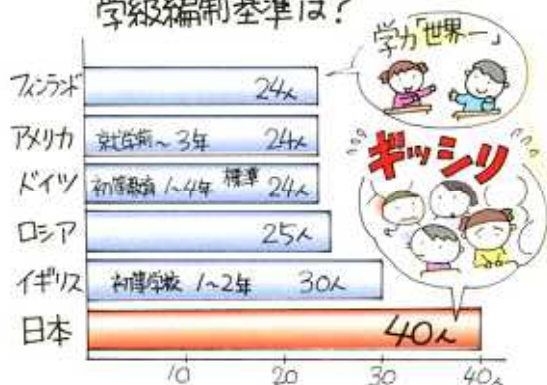
今年も「教育請願署名」にご協力ください

「少人数学級」は政府も効果を認める、全国的な流れです

昨年度でも、これだけの「願い」が実現したんだね



諸外国の学級編制基準は?



【国では】国会審議の中で、与党も含めて各党が教育予算の増額や教職員の増員を求めました。そして総理大臣も文科大臣も「教員が子どもと向き合う時間が足りない」と繰り返し認めました。少人数学級について、文科大臣は、「将来は」としつつ、「35人に引き下げていく方向で努力したい」と答弁したことは一般マスコミも注目し、報道しました。

【京都府では】京都府では、来年度から府内の全小中学校を段階的に「30人程度」で学級編成できるよう検討しています。その他にも、この運動で実っていることがあります。

- 「特別支援教育」地域支援コーディネーターの配置
- 養護教諭の複数配置の拡大
- 発達障害児童・生徒のための支援教員の配置
- 中学・高校へのスクールカウンセラーの配置
- 府立学校などでの耐震強化対策費の拡大
- 府下の小・中学校で少人数学級実施
- 府立高校の授業料減免特例措置の継続、高校生等修学金制度の拡大

国・府・宇治市向け、3カ所に署名してください

2007年10月発行

学校教育の充実を求める会

宇治城陽久御山教育会館内 44-6191

# 市の判断で、独自の30人学級編成ができます

宇治市では2005年(平成17年)の3月定例議会で、少人数教育を含む「学校教育の充実を求める請願」が採択されました。その請願内容の早期実現が求められています。「少人数」の方が「教育効果があがる。」のは、全国的にも共通した認識になっており、一刻も早い「30人学級」の実現が望まれます。

【40人学級の場合】



【30人学級の場合】



## 【今年の請願は、内容も盛り沢山！】

「教室にエアコンを！」「校舎の耐震補強を早く全校に！」「父母負担軽減のために、修学旅行費などの補助金の新設を！」「虫歯治療の補助延長や(現在は小学校1年生のみ)、医療費負担軽減のために補助制度の新設を！」など、切実な要求が目白押しです。

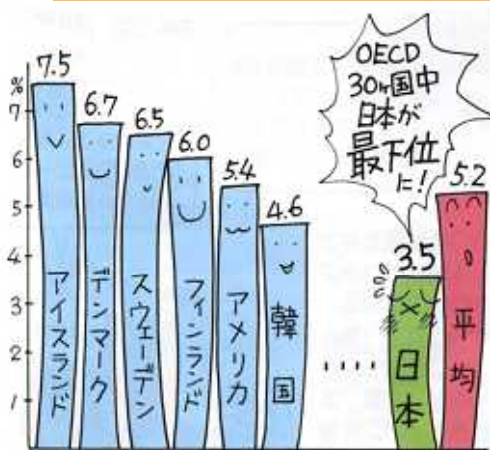
## 教育費の無償は世界の常識です

主要国の学費は、初等・中等教育はもちろん、高等教育も無償、または低額が普通で、全国どこでも平等に教職員配置がされています。政府は義務教育費の国庫負担をそれまでの2分の1から3分の1に削減し、これによって各県の財政負担は実質的に増え、教育条件が切り下げられる自治体が増えることになりました。右図「教育指標の国際比較平成19年版」(文科省)より作成

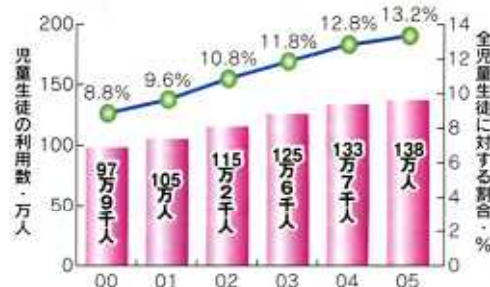
### 【諸外国との比較】

フィンランド	完全無償(教科書、副教材、給食、交通費も無償)
デンマーク	完全無償
イギリス	大学は有償だが約6割は減免
フランス	大学在籍確認料1.9万円
ドイツ	大学在籍確認料1.6万円
アメリカ	2割の学生が通う私学で高額だが、給与制奨学金があり、実質無償で受けられる。

国内総生産(GDP)に対する公財政支出の学校教育比率



急増する就学援助利用者



国籍・年齢に制限はありません。趣旨に賛成できる方ならどなたでも。他府県でもOK。

署名欄が5人うまらなくても、かまいません。

11月末に議会に提出しますので、11月中頃までお願いします。

学校教育の充実を求める会

宇治城陽久御山教育会館内 44-6191